

2025年5月公開

政治経済学部主催 中長期学部間協定留学プログラム 募集要項

プログラム概要

中長期学部間協定留学プログラムとは、明治大学政治経済学部と協定を結んでいる世界各国の高等教育機関に、留学生として所定の期間留学する制度です。

留学先協定校の授業料の支払いが免除される【交換型】と留学先協定校の授業料を支払う【授業料負担型】に分類されます。

また、【授業料負担型】には、【ダブルディグリープログラム】と称し、明治大学と協定校（対象大学のみ）の2つの学士号が取得可能な留学プログラムもあります。

学部間協定留学【交換型】	学部間協定留学【授業料負担型】
明治大学の学費については納める必要がありますが、留学期間中の留学先協定校の授業料は納付不要です	明治大学の学費と留学期間中の留学先協定校の授業料の両方を納付する必要があります
単位取得	学位取得（ダブルディグリー）
留学先大学で単位修得した科目の中で、「明治大学設置科目と同等の科目」と政治経済学部が認めた科目は、単位認定が可能です（評価は「認定」となり、GPA 対象外）	明治大学と対象協定校の2つの学士号の取得を目指します（応募時、政治経済学部の2年生以上であること）

協定留学は、政治経済学部からの推薦が必要なため、協定校への出願の前に学内選考を行います。

留学プログラム	授業料	留学期間	学内募集	面接選考
■長期協定留学【交換型】 （春出発）	免除	2026年2-3月留学開始で 1学期間 または 2学期間	9/24 13:00- 10/6 13:00	10/11（土） 午前
■ロンドン大学 LSE（London School of Economics and Political Science）サマースクール	負担あり	2026年6月留学開始で 6週間から最大9週間	ステップ 1 〆切 10/3 13:00	書類選考 のみ
■長期協定留学【交換型】 （秋出発）	免除	2026年8-11月留学開始で 1学期間 または 2学期間	11/25 13:00- 12/8 13:00	12/13（土） 午前
■長期協定留学 ダブルディグリープログラム	負担あり	2026年8月留学開始で 最短4学期間～	ステップ 1 〆切 12/5 13:00	

1. 派遣対象プログラム・派遣要件

別紙「学部間協定留学 協定校出願条件等一覧」を参照すること（協定校から条件変更の連絡があった場合は更新します）

2. 応募資格

以下のすべての条件を満たす政治経済学部生

※ダブルディグリープログラムについては条件が異なるので必ず事前に政治経済学部事務室に問い合わせること

- ① 出願時1年生・2年生の学生は、在学1か年につき卒業要件単位を30単位以上修得しているか、修得見込みであること

※留学・休学等の理由により、修得単位数の要件を満たすことができない場合は、事前に政治経済学部事務室に相談すること

※休学中の応募可。ただし、留学を開始する学期には必ず復学していること。また、各種手続（学内選考、オリエンテーションの出席、協定校への出願手続等）は、休学中であっても滞りなく行うこと

- ② 心身ともに健康で、外国において長期にわたって生活をするうえで問題がないこと

※持病や既往症がある場合は、必ずかかりつけ医師等の了承を得たうえで、診断書を添付して学内選考に応募すること

- ③ 留学に係る経費を理解し、経済的な裏付けが得られること

※学内選考合格後、協定校への出願手続において、留学期間中に必要な費用が準備されていることの証明が求められた場合は、金融機関が発行する残高証明書が提出できること

- ④ 誓約書に記載されている事項に同意し、保証人（保護者）の同意を得た者
- ⑤ 学内選考オンライン応募時点で、留学を希望する協定校が定める出願条件【GPA・語学要件等】を全て満たしていること

3. 応募方法

申し込み期限内に【ステップ 1】【ステップ 2】両方の完了が必須です。

【ステップ 1】オンライン応募	Oh-o!Meiji アンケート名：「政治経済学部 中長期学部間協定留学応募フォーム」からオンライン応募を完了させる ※登録後の修正は原則できません。 ※同時に【ステップ 2】で提出する応募書類の準備始めてください 本人・保護者の署名が必要な書類があります ↓ Oh-o! Meiji よりグループページ登録完了の通知が来る ※グループページに登録がされると【ステップ 2】へ進むことができる グループページからのお知らせがご自身のメールアドレスに転送されるよう、設定すること ※オンライン応募完了後、数日かかる場合があります。
【ステップ 2】応募書類提出	オンライン応募完了後に Oh-o!Meiji より送信されるグループ登録完了通知の指示に従って、各書類のデータをグループページへアップロードする ※オンライン応募完了後に Oh-o!Meiji より送信される通知の指示に従って、応募者本人が各書類のデータ（A4 サイズ・PDF 形式）を Oh-o!Meiji グループページへアップロードすること。 ※期限内に応募書類が不備なく提出されない場合、申込は無効となりますのでご注意ください。

所定書式掲載 URL：https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/exchange/spse_tuition_waived.html

【ステップ 2】応募書類

以下の必要書類を登録されたグループページにアップロードする。紙ベースの書類をデータとして提出する場合は、必ず、**スキャナー**を利用し **PDF 化したデータ**を提出してください。**※写真に撮ったものなど内容が不鮮明なものは受け付けられません。**

①参加申込誓約書 ※所定書式をダウンロードし、印刷、署名後にスキャンデータ（PDF）を作成し、アップロードする	学生・保証人（保護者）共に、必ず誓約書を熟読の上、署名すること 保証人（保護者）の直筆署名必須（海外・遠方に在住の場合も含む） 保証人（保護者）に、必ず事前に留学について同意を得ること ※原本は、面接選考時に提出していただきます
②留学計画書/Plan of Study Abroad ※所定書式をダウンロードし、PC 入力後、PDF データを作成し、アップロードする	A4 片面 2 ページ以内、文字ポイントは 11 で作成すること 日本語は 1,500 字以内、英語は、1,000 words 以内 次の 3 点を含んでいること (1) 留学の動機を、これまで取り組んできたことと関連させながら記述する (2) 留学先での学習・研究計画について記述する （履修希望科目や分野を挙げるなど） (3) 留学先での学習や研究成果を今後の進路にどのように活かす予定かを記述する ※日本語と英語の内容は必ずしも一致しなくても構いません。 ※第二希望以下の大学もある場合、第一希望の大学を中心に、第二希望の大学についても簡単に記述してください。
③最新の成績通知表 ※Oh-o! Meiji ポータルサイトからダウンロードし、パスワードを解除した状態のものをアップロードする	当該年度春学期までの GPA が、希望する協定校の GPA 要件を満たしていること。また、学内選考に合格した場合、協定校への出願時においても、協定校の定める GPA 要件を満たしていること。万が一下回ると、協定校に出願できなくなります。

	※証明書自動発行機で取得する成績証明書は不可
④語学能力証明書 ※オンライン応募フォーム（Oh-o!Meiji アンケート）に登録したものと同一のスコアの語学能力証明書原本のスキャンデータをアップロードすること（オンライン応募期間以降に取得したスコアは学内選考での使用不可） ※対面形式の試験で取得したスコアのみ有効（オンライン形式の試験のスコアは使用不可）	学内選考オンライン応募時点で、 (1) 希望する協定校の要件を満たすスコア（複数試験の選択肢がある場合は、いずれか一つ）を取得済であること。 (2) 取得時から2年以内のものであること。また、学内選考に合格した場合、協定校から、 <u>出願時または留学開始時</u> において2年以内のものが求められる場合があるため、注意すること。 【TOEIC】 - 対面形式のIPテストも対象。オンライン形式（TOEIC IP@Online Test 等）は不可。 【TOEFL iBT】 - 「Home Edition」、「MyBest scores」の使用は不可 - 原本のスキャンデータが望ましいが、TOEFL は ETS のマイページからダウンロードできる PDF 版「Test Taker Score Report」も提出可とする（後日自宅に届く証明書と同一のため） 【IELTS】 - アカデミックモジュールの試験結果を提出のこと（ジェネラルトレーニングモジュールのスコアは不可） ※学内応募締切日までに証明書の受け取りが間に合わない場合に限り、 <u>原本が届くまでの一時的な措置として</u> 、「受験者氏名」「受験日」「スコアの詳細」が全て明記されていれば、オンライン画面のスクリーンショットやダウンロードデータでも応募可。その場合は、証明書原本が届き次第、原本のスキャンデータを政治経済学部事務室にメール添付にて提出すること。 ※英語以外の言語での専門科目の履修を希望する場合は、事前に政治経済学部事務室に相談すること。

※受付期間外の応募・書類の提出は一切受け付けられないため注意すること。

※アンケート回答後に、内容の修正・変更を希望する場合は、seikei@mics.meiji.ac.jp 宛てにメールにて連絡すること。

ただし、応募内容の変更（希望大学や留学希望期間等）の変更は、オンライン応募受付期間内のみ可能。

※毎年、期限間近に提出を行い、書類不備のため応募を受け付けられないケースがあります。余裕をもって応募すること。

4. 学内選考（書類選考・面接選考）

志願者から提出された応募書類、学業成績、面接選考に基づく総合評価で学内選考を行います。

<面接選考について>

駿河台キャンパスにおいて日本語と英語による面接選考試験を実施する予定です。

集合場所等の詳細は応募結果通知（Oh-o! Meiji）にてお知らせします。

※学事（授業・試験等）の理由を除き、面接選考の日時変更は不可。

※選考結果（可否結果及び選考内容）に関する問い合わせは一切受け付けません。

※学内選考では、明治大学政治経済学部から各協定校に対して推薦する「派遣候補生」を選出することが目的であり、受入可否の最終判断は協定校によって行われます。

5. 希望大学の選択及び他の留学プログラムとの併願について

- ① 第1希望から第4希望まで、最大で4校の大学を希望することができます。ただし、学内選考の結果、希望順位の低い大学への候補生として決定した場合でも、辞退はできないため、よく考えた上で応募してください。
- ② オンライン応募時に複数の大学を希望した場合でも、出願できるのは派遣候補生として決定した協定校1校のみです。
- ③ 他の留学プログラムと併願する場合は、必ずオンライン応募時に申告してください。
- ④ 大学間協定留学【交換型】と併願する場合、大学間に合格したら、学部間協定留学プログラムへの応募は無効となります。大学間と併願する場合、可否に関わらず選考結果が判明した時点で、すぐに政治経済学部事務室に連絡してください。

- ⑤ 大学間及び学部間協定留学以外の学外の留学プログラム等が第一志望で、当該プログラムの参加可否が、学部間協定留学プログラムの面接選考実施日以前に判明する場合は、学部間協定留学プログラムとの併願が可能です。当該第一希望のプログラムの選考結果が判明した時点で、すぐに政治経済学部事務室に連絡してください。

6. 学内選考後～留学決定までの流れ

- ① 学内選考合格者は、派遣候補生として協定校へ推薦されます。その際、各候補生は協定校への出願書類（例：所定の申請書類等の各種書類の作成は候補生本人が行い、発行手数料等準備にかかる諸経費は自己負担）を別途準備する必要があります。
- ② 本学からの推薦は、受入決定および希望授業履修を保証するものではありませんのでご注意ください。協定校から入学許可を得た後、政治経済学部において留学可否について審議します。学部において承認が下りた段階で、本学からの「留学」が正式決定します。
- ③ 留学先大学から入学許可書を得た後、各自の責任において、留学に必要な学生ビザ、往復航空券、学生寮手配、大学指定の海外旅行保険加入等の手続きを行っていただきます。留学先大学に対して必要な手続きについては、留学先大学ホームページ等で確認してください。

7. 奨学金・助成金

留学にかかる学内外の経済的支援制度は[こちら](#)で確認してください。

なお、2027 年度より、**在留資格が「留学」の学生は外国留学奨励助成金の対象外**となります。

※26 年秋学期から 2 学期間留学する場合は、26 年秋学期のみ、外国留学奨励助成金の対象となり、27 年春学期は対象外となります。外国留学奨励助成金についての詳細は、国際連携事務室へお問い合わせください。

8. 留学中の履修登録について（帰国後の授業履修に向けた準備）

留学終了後に、明治大学での授業履修を希望する場合は、当該年度 4 月の履修登録期間に各自で履修登録をする必要があります。この履修登録期間を逃してしまうと、当該年度に履修登録ができなくなりますので十分注意してください。

履修登録の詳細については、Oh-o! Meiji を通じて案内する予定です。

9. 注意事項

留学希望者は、以下の注意事項をよく読み理解した上で、応募してください。

- ① 面接選考に臨むにあたり、志望動機、学習計画、将来の計画、その他予想される質問事項について自分なりに考え、日本語と英語の両言語で問題なく話すことができるよう準備をすることはもちろん、留学先国や大学について入念に下調べをし、理解を深め、面接で最大限の力・知識を発揮できるようにしてください。
- ② 協定留学学内選考に合格した後の**辞退及び留学期間の変更は、原則として認められません**。派遣候補生として決定後の辞退は、同じ大学を希望していた他の学生の留学機会を奪うことになります。事前に十分な情報収集を行い、留学に必要な準備、費用、リスク等を理解した上で応募してください。
- ③ 留学先大学の最新情報（シラバス、学年暦等）は当該大学のホームページで確認してください。
- ④ 教職課程等の資格課程を履修している場合、留学自体は可能ですが、必要な科目の履修や教育実習のタイミングにより、所定の修業年限で卒業することは難しくなります。留学先大学では、教員免許状取得のために必要な科目の履修はできませんので、教職課程を履修し、留学を考えている方は、早めに資格課程事務室に相談してください。
- ⑤ 就職活動に関しては、事前に就職キャリア支援事務室に相談してください。
- ⑥ 4 年次（卒業前の最終学期）の留学可否は、入学年度により異なります。以下を確認してください。

(1) 2021 年度以前入学者の場合：

4 年生の秋学期に留学すること自体は可能ですが、その場合、当該年度の 3 月に卒業（4 年間で大学を卒業）することはできません。「政治経済学部シラバス 1 履修の手引き」で卒業要件を確認してください。※政治経済学部の制度上、卒業のためには、「在学最終学期に新規に履修した科目を 4 単位以上修得しなければならない」というルールがあります。

(2) 2022 年度以降入学者の場合：

協定留学もしくは認定留学に限り、4 年生の秋学期に留学したうえで当該年度の 3 月に卒業を認められる（4 年間での卒業を認められる）場合があります。ただし、様々な条件および留意点がありますので、必ず事前に政治経済学部事務室に相談してください。

- ⑦ 明治大学の危機管理上、留学期間をカバーする海外旅行保険（大学指定）に必ず加入していただきます。渡航前に帰国時期を検討の上、海外旅行保険に加入してください。万一、帰国日が海外旅行保険期間外に変更になった場合は、日本在住のご家族にお願いし、必ず、期間満了前に延長の手続きをしてください。

- ⑧ 留学のための査証（ビザ）取得に必要な情報の確認、申請等諸手続については、志願者自身の責任において進めることとなります。入学許可書受領後、在日の各国大使館・総領事館にて手続が可能となります。
- ⑨ 留学先国での住居については、留学先大学により学生寮やアパート等の紹介がありますが、留学生用に確保されているわけではありません。志願者自身が留学先大学（ハウジングオフィス等）と情報をやり取りし、手続を行うこととなります。
- ⑩ その他、各国の在日公館（大使館など）、市販の情報誌、インターネットなどで積極的な情報収集を行い、大学、留学についての知識を増やしてください。
- ⑪ プログラム（期末試験）終了後、1 か月以内に帰国してください。
- ⑫ 留学先で修得した単位が明治大学の単位として認定される単位数は、個人によって異なります。留学先大学で履修した科目や単位数に応じて、帰国後に審議されます。また、海外の大学で履修できる科目数は日本の大学の科目数と比較して少ない場合が多く、明治大学で修得できる単位数と同等の単位が留学先大学で修得できるとは限りませんので、十分注意してください。
- ⑬ 政治経済学部留学プログラム参加者は、帰国後の TOEIC（IP 可）テストの受験が必須です。帰国後に必ず受験し、結果を報告してください。
- ⑭ 留学を考える際には国際教育センター作成の「海外留学の手引き」を参照してください。
<https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/tebiki.html>
- ⑮ 留学により、明治大学学業奨励給費奨学金（返還不要）の選考対象外となります。

10. 問合せ先

明治大学 駿河台政治経済学部事務室

ホームページ : <https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/top/index.html>

E-mail : seikei@mics.meiji.ac.jp

※ お問い合わせの際は、希望する留学プログラム及び志望協定校名・所属・学生番号・氏名をお知らせください。